

令和4年度中野区立中央図書館みなみの小学校分室事業報告

1 図書館概要

開館日：令和3年（2021年）4月20日

施設規模：小学校内1階（198㎡）

閲覧席：15席（内机8席）

蔵書数：図書資料2,257冊（一般書1,020冊、児童書1,237冊）

貸出冊数：18,389冊（一日平均83冊）

貸出人数：5,620人（一日平均25人）

休館日：月曜日・水曜日・金曜日（休日の場合は開館）、中央図書館の休館日

※ 夏季休業等は毎日開館（中央図書館の休館日を除く）

開館時間：10:00-19:00

※ 蔵書数、貸出冊数、貸出人数は令和3年度実績

2 事業報告

（1）おはなし会

毎月第1・3土曜日に定例おはなし会を実施している。

第1土曜日 15時 読み聞かせボランティア団体が担当

第3土曜日 15時 ライブラリーのスタッフが担当

（2）イベント

① 「本を読もう！スタンプラリー」

貸出冊数に応じてスタンプを押し、規定数に達した方へ折紙のプレゼントをした。

② 「ライブラリーを飾ってみよう」

折り紙をお渡しし、作品を館内のコーナーに飾りつけしてもらった。折り紙に関する資料を収集・展示した。

③ 「本のくじびき」

くじを引くと、それと紐づけられたおすすめ本を借りることができるという企画。思いがけない本との出会い、読書の幅を広げるきっかけとなることを狙いとして実施した。

④ 「ひとことかんそうぶん」

本を読んだ感想を一言で書いてもらい、館内に掲示した。

⑤ 「どんな本、よんでみたい？」

読みたい本のテーマに投票してもらった。投票結果は、1月に実施する「本のふくぶくろ」に反映。小さいお子さんでも気軽に参加できるよう、シールを貼るアンケート方式をとった。

⑥ 「おすすめ本のクリスマスツリー」

好きなクリスマス飾りを選ぶと、その飾りと紐づけられたおすすめ本を借りることができるという企画。季節感を感じ、また、思いがけない本との出会いを楽しんでもらうことを狙いとして実施した。

⑦ 「本のふくぶくろ」

おすすめ本が2冊入った福袋を選んで借りていただいた。昨年も好評をいただいた企画であったため、普段あまり来館の多くない小学校高学年にも参加いただいた。

⑧ 「としょかんビンゴ」

出されたお題に従った本を借り、ビンゴを達成したらプレゼントを差し上げる(2023年3月実施予定)。

(3) 特集(テーマ展示)

1~2ヶ月に1回程度、季節の事柄や話題に合わせたテーマ展示を行っている。展示する資料は児童書、一般書、雑誌などを混ぜ、子どもと大人と一緒に楽しめるよう工夫している。

① どうぶつ(4月~5月)

② 海(7月~8月)

③ 芥川賞・直木賞(大人向け8~9月)

④ いただきます(9月~10月)

⑤ 映画化された作品(10月~11月)

⑥ アートの世界へ(12月~1月)

⑦ ぶるぶるカチコチ おうちでぬくぬく(12月~1月)

(4) 地域連携・学校連携

① 団体貸出(3分室共通)

併設の小学校およびキッズ・プラザへの資料の受け渡しや貸出を行っている。

② 図書館見学会、まちたんけん(3分室共通)

併設の小学校に対し、学級単位で図書館見学会及びまちたんけんを実施した。

③ 夏季休業中の学校図書館資料の貸出・返却の受付(3分室共通)

④ 学校図書館開放(3分室共通)

土・日・夏季休業中等に子どもの学習スペースとして学校図書館を開放した。

⑤ みなみの小学校開校5周年記念イベントへの後方参加。(みなみのライブラリー)

(5) ブックスタート事業

0歳児の親子を対象に、絵本を読むきっかけづくりと図書館利用促進を目的として実施。ブックスタート・パック（絵本2冊・布製バッグ等）の配布（随時）を行っている。

(6) その他

マットエリア前に育児関連本コーナーを設置した。現時点では約50冊の蔵書だが、随時追加をする予定となっている。

(7) 次年度に向けて

乳幼児や保護者、小学生、中学生の皆様「面白い」「楽しい」と感じていただける空間づくりをしていくため、蔵書の充実、イベントの実施、館内装飾等の工夫をする。また、学習スペース、交流の場としてなど、地域の方に活用していただく可能性を探り実行していきたいと考えている。

4 利用者アンケート結果報告

(1) 結果概要

実施期間：令和4年8月1日（月）～31日（水）

有効回答数：60枚

(2) 分析

① 今年度の評価

1) 図書館職員の対応 100%

満足（91.7%）、やや満足（8.3%）を合わせて、多くの方に満足いただいている。地域の方にとって親しみを感じられる場となるよう、引き続き丁寧な接遇を心掛けていく。

2) 蔵書（資料）の充実度 73.4%

満足（36.7%）、やや満足（36.7%）、やや不満（16.7%）となっている。引き続き資料の購入を進めると同時に、学校図書館開放時の補完的な利用もご案内する。また、別の質問項目「今後、充実してほしい子ども向けサービスについて」のうち、「本の紹介やおすすメリスト作成」（8.3%）の結果にもあるように、テーマ展示コーナー等の入れ替えを行うことや本の紹介をし、予約（取り寄せ）していただくことで、できるだけ満足していただけるように案内していきたい。

3) 中野区立図書館は学びや課題解決に役立っていると感じている 85.0%

多くの方から好意的な評価をいただく結果となった。今後も、ライブラリ

一はどのように地域の方々の課題解決のお役に立てるのかを考え、運営していきたい。

② ご要望への対応

1) おすすめ本の紹介について

「おすすめ本の簡単な内容をポップ等で紹介し、子供たちの興味をひくようにしてはどうか」という旨のご提案をいただいた。特集展示コーナーにて少しずつポップでの紹介を行うようにしている。

2) 閲覧席について

「椅子とテーブルを増やしてほしい」という要望をいただいた。席数が少ないことと、広々として開放感がある反面、年齢が上がるにつれ、学習するには少し落ち着かないと感じられる方も多い様子である。土・日・長期休みの学校図書館も利用できる旨ご案内すると同時に、集中しやすい席を設けられないか検討している。

3) 中高生向けの蔵書の充実について

「中高生向けの本や勉強の参考になる本を増やして欲しい」というご意見をいただいた。より多くの中高生にも足を運んでいただけるよう、蔵書の充実を図る。

③ 次年度に向けて

開館から2年が経とうとしている。今後も地域の方々に向け、身近な存在として知ってもらい、楽しく過ごせる場となるよう発信し、ご意見・ご要望をお聞きしていきたい。また、イベントや特集コーナー、蔵書の充実を図るとともに、学校や地域の機関との連携によりライブラリーの活用をアピールしていきたい。